

平成 30 年 月 日

患者さん・ご家族様へ

## 後方視的研究へのご協力をお願い

消化器外科・移植外科では、過去に下記のような診療を受けていただいた患者さんのデータを用いた臨床研究を行います。患者さん個人のお名前や、個人を特定できる情報は一切公表いたしません。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究課題名：胃癌による胃出口狭窄症に対する治療法の実態調査

研究目的：胃癌による胃出口狭窄症に対する我が国の治療実態と各治療法の有効性、安全性及び治療予後因子を検討する。

研究概要：（※200字以内を目安（作成時にはかっこ書きを削除すること））

胃癌の胃出口狭窄症に対する治療法としては、アジアからステント治療のケースシリーズが報告されている。これらの報告では、ステント挿入術は、安全かつ効果的な治療であるとされている。一方、我が国でも2010年4月から胃・十二指腸ステントが保険適用となり、バイパス手術に加え、治療選択肢が増えたところである。しかし、胃癌の胃出口狭窄症に対する治療法を全国調査した報告はなく、その実態は不明である。本研究では、日本胃癌学会のがん登録施設を対象に、胃癌による胃出口狭窄症に対する治療法の実態や各治療法の合併症、有効性及び治療予後因子を検討する

### 対象となる患者さん

2015年1月～12月に当院で胃癌により幽門狭窄または十二指腸狭窄を来し、ステント挿入術または外科手術（バイパス手術）を施行した患者。

### 公示期間

2018年 3月 1日 ～ 2018年 12月 31日

### 研究への参加辞退をご希望の場合

この研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。この研究では当科において既に管理している患者さんのデータを使用させていただきます。患者さん個人のお名前や、個人を特定できる情報は一切公表いたしません。しかしながら、様々な理由により本研究への参加を辞退される場合には、遠慮なく担当医師へご連絡下さい。本研究への参加は患者さんの自由意思であり、参加の辞退を希望されても患者さんが不利な扱いを受けることは一切ありません。参加を辞退される方は、上記の公示期間内に下記の担当医師へご連絡下さい。なお、公示期間の後でも、可能な限りご希望に沿って対応いたします。

いつでも相談窓口(担当医師)にご相談下さい。

東京医科大学八王子医療センター

消化器外科・移植外科

電話番号 042-665-5611 (代表) (内線)

担当医師：片柳 創